

すぎのこだより

第78号



◆CONTENTS◆

- 『特集』各事業所～新年度の抱負～・・・②③④
- 『辞令交付式、新ひのきの杜関係』.....⑤
- 『理事長コラム』.....⑥
- 『職員リレー・みんなの部屋』.....⑦
- 『守る会・ボランティア・寄付
なんでも掲示板』.....⑧



【社会福祉法人 すぎのこ会】

<http://suginokokai.or.jp>

Instagramはこちら 
ホームページと併せて、是非ご覧ください。





各事業所～新年度の抱負～



もくせいの里

もくせいの里入所の利用者さんは「お出掛けして美味しいものをいっぱい食べたい」「家に帰って、お母さんが作ったご飯が食べたい」そんな願いが、なかなか叶えられない日々が続いています。景色や食べ物で季節を感じたり、体操や散策で身体を動かしたり、「あたりまえ」の毎日を大切に、皆さんが健康で元気に過ごせるよう努力いたします。

通所の利用児・者さんは、新規の方も多く元気に通所され充実した活動ができるよう努めます。そして、新規事業が始まります。想いをつないで…

統括課長 佐藤 和孝



包括すぎのこ

新型コロナウイルスの影響で、まだまだ予断を許さない状況が続いています。少しでも安心して変わらぬ生活が送れるよう感染予防に注意しながら相談支援専門員、ケアマネジャー、ホームヘルパーが連携をとり、適切なケアマネジメント及び在宅サービスを提供していきます。利用者の皆さんとご家族の笑顔が私たちの栄養源です。コロナに負けるな！一丸となって乗り越えていきましょう！

支援主事 川田 敏江



ひのきの杜

新年度、ひのきの杜は2名の職員を迎えました。先輩職員は新しい風に刺激を受け、自身の支援を振り返る機会にもなります。どんな時も前向きに、利用者の笑顔を一番に考えながら、丁寧な支援を心がけていきます。今年度のひのきの杜は更なる飛躍の年になります。利用者や保護者の想い、生きがいや夢の実現のために前進あるのみです。利用者や保護者の皆さんと一緒に、「安全、安心に暮らせる場所」「自分らしく、楽しく暮らせる場所」を創っていきたくと考えています。そして、サービスを必要としている方が安心して利用できる施設、地域の方にも優しい施設を目指します。 次長：青山 幸子



ひのきの杜共生

令和3年度を迎え、新ひのきの杜で話は持ち切りですが、ひのきの杜共生も新たに動き出しております。再編に伴い様々な課題がありますが、何より利用者様が『安全に、楽しく過ごす』ことを第一に考え、検討しています。

コロナ禍で外出自粛やご家族とも会えないことが続き、利用者様にとっては辛い時期でもあります。そんなコロナも吹き飛ばすほどの楽しい生活が送れるよう、職員一同努力してまいりますので、新ひのきの杜共生も何卒宜しくお願いいたします。

総括主任 矢口 健太



けやきの家

『今年度は、さらなる変化(飛躍)のとき明るく・笑顔・協力・それぞれの力を出し合う・一緒に考える』～TUNAGU～TOMONI～MIRAI～

つなぐ ともに みらいえ

曲ヶ島エリアの事業再編計画を基に、けやきの家は地域における“福祉の玄関(入口)”としての役割を担えるよう、施設・事業所間の連携を強化し、支援体制を確立していきます。

総括主任：永田 昌弘



みすぎの郷

みすぎの郷開設から今年の6月で“6周年”を迎えます。一昨年から実施している「おのでらカフェ」や、地域の会議にみすぎの郷の職員が参加したりと、少しずつですが、地域の皆様から必要とされる施設に近づいてきているのではないかと実感していましたが、昨年からのコロナウィルス感染拡大に伴い、そういった場が少なくなってきました。今年度は、どうしたら地域に参加できるか？利用者様が楽しめる行事等が行えるか、色々な方法を模索して、事業として足踏みをせず前進し続けていけるよう、職員一丸となって、みすぎの郷を盛り上げていきます。

総括主任：松本 太志



花 水 木



共同生活援助事業所花水木は、利用者が安全に生活できることを考えたいと思います。新型コロナなどの感染症や災害、また重度化・高齢化への対応等、多岐にわたる課題はありますが、安全な住まいの場を提供し、利用者一人ひとりが生きがいを持って生活できるよう支援していききたいと思います。まずは笑顔になること。利用者さんの笑顔を引き出せるような支援を心掛けていきたいと思います。

総括主任：戸田 朱織

愛 晃 の 杜

新型コロナウイルスに振り回され1年が経過。今年度は、昨年の教訓を生かし、途切れない作業環境の構築（自主製品や農福連携に力を入れる）や、感染予防を講じたなかでどれだけ余暇を充実させるかの2点を重点目標に取り組んでまいりたいと思います。

総括主任：金子 綾乃



の あ の 杜

昨年度は、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら、子供たちが毎日楽しく活動できることを一番に考え、支援にあたってきました。日々の清掃・消毒の強化、また密にならないよう小集団グループでの活動も取り入れてきました。今年度も感染予防を継続しながら、一人ひとりの成長に合わせた支援や活動を行うとともに、昨年度できなかった行事・活動も楽しむことができるよう創意工夫していきます。

支援主任：久保 璃歩



わ た す げ

昨年度は予定していた旅行に行けず、外出の制限もあり我慢の1年でした。そんな中でも各GHで季節ごとのイベントをしたり、散歩をして工夫しながら楽しんでいました。この春は、ふきのとうを採りに行き、天ぷらにして美味しく頂きました。感染症対策をしながらも楽しみを沢山見つけれられる1年にしたいと思います。

支援主任：長田 ひかり



み す ほ の 家



みすほの家は6月に“9周年”を迎えます。皆様方の支えがあってこそと、職員一同感謝しております。今年は作業内容の見直しを検討しています。利用者の皆さんに安定した作業を十分に確保できるように努めていきたいと思います。ちょっ蔵におきましては、地域の皆様により愛される「いもフライと焼きそば」の店を目指してまいります。是非ご利用下さいませ！

課長：秋山 阿津子

ひまわり



ひまわりの今年度の抱負は「楽しみながらできることを増やす」です。遊びを通して色々な課題に取り組み、苦手だったこともいつの間にかできるようになることを目指し、日々創意工夫しながら子ども達と一緒に活動をしていきたいと思います。今年度から新たな職員とリトミックの講師を迎え、活動の幅を広げ、より一層子ども達が好きにひまわりに通うことができるように、職員一同、力を合わせて支援していきます。

支援主任：中田 慎子



すぎのこ



今年度の一文字を「新」としました。新生すぎのこ着工の年、新型コロナウイルスとwithコロナという新たな生活様式を継続していく年であります。利用者が明るく元気にそしてたくましく活動できるすぎのこととなるよう、職員一同、心を込めてサービスを提供していきます。

所長：長谷川 孝範

あすなろ

今年度のあすなろの目標は、「活動の意味を知る・考える」です。毎日の支援や療育の活動はそれぞれ意味を持って日課を組んでいますが、全ての職員がその活動の意図を理解できているのか？同じ方向に向かって支援しているのか？コロナ禍で活動制限されている中ではありますが、工夫して楽しく過ごせるよう支援課と療育課の職員が一丸となって協力し、情報共有していく1年にしたいと思います。

総括主任：小石川 明美



あすひ

あすひは、今年度も、利用者の方々が、笑顔で安心して過ごせる場所を目指していきます。更に個々の利用者さんに適した活動を提供できるよう、活動内容を見直していきたいと思います。あすひの自慢の設備である「遊戯棟」を最大限活用していきます。新しく職員2名を加えた、新生あすひに、ご期待ください！

総括主任：安藤 伸哉



やまと

昨年度は、いくつかの行事が中止となり、慌ただしくもあり、静かな1年でもありました。その中で、昼食のテイクアウトや散歩、密にならずにできる活動を行い、利用者さんに楽しんでいただけるよう工夫をしました。これまでも、各事業を超えた活動の時間を設けてきましたが、複合型事業所の特徴を活かし、今後はその“繋がり”を深めていきたいと思います。そして“やまと地域交流市”等の、地域の皆様との“繋がり”も大切にしていきます。まだまだ不安の残る世の中ですが、今だからこそその“小さな楽しみ”を利用者さんと一緒に見つけていきたいと思います。

支援主任：土屋 知美



🍀🍀🍀皆さま…今年度もどうぞ宜しくお願い致します！🍀🍀🍀